

昭和20年(1945)9月 米国立公文書館提供



平成28年

千人針

午前9時30分一午後5時30分 ※初日は、9時30分からオーブラングセレモニーを行います

所在地:名古屋市中区三の丸1-7-2 場: 桜華会館(松の間 竹の間 菊の間 援 催 愛知県 昭和館 愛知県教育委員会 名古屋市 [協 賛] 愛知県遺族連合会 名古屋市教育委員会 梅の間 蘭の間

三重県遺族会 滋賀県遺族会 奈良県遺族会 和歌山県遺族連合会 京都府遺族会 大阪府遺族連合会

中日新聞社 NHK名古屋放送局 東海テレビ放送 CBCテレビ テレビ愛知

日本遺族会第3ブロック(富山県遺族会 石川県遺族連合会 福井県遺族連合会 岐阜県遺族会

兵庫県遺族会)

後主

会





昭和館 (厚生労働省委託)

もっと知りたい! のくら

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」 に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を 各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で 実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、 巡回特別企画展「もっと知りたい!戦中・戦後のくらし」を、 名古屋市において開催する運びとなりました。

本展では、実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が 綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、 そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、

苦難の多かったくらしを紹介します。

昭和33年(1958)6月 毎日新聞社提供 建設中の東京タワー

子どもたちの夢「象列車」・東山動物園(名古屋市千種区)

墨塗り教科書「初等科国語」

昭和24年(1949)6月 名古屋タイムズアーカイブス委員会提供

展示内容

I 家族の別れ

Ⅱ 戦中の暮らし

1.さまざまな統制 2.戦中の子どもたち 3.空襲、そして終戦

Ⅲ 戦争が終わって

1.廃墟からの出発 2.遺された家族 3.戦後の子どもたち 4.復興に向けて

IV 慰霊の旅

1.遺骨収集帰還 2.慰霊巡拝

せん し そうしょ 『戦史叢書』 『陸軍・海軍部隊略歴』検索・閲覧コーナー

東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供 を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は 各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※「戦史叢書」とは、防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。

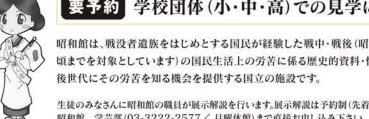
※「陸軍・海軍部隊略歴」は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。



学校団体(小・中・高)での見学にも対応します

昭和館は、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後(昭和10年頃から昭和30年 頃までを対象としています)の国民生活上の労苦に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、

生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は 昭和館 学芸部(03-3222-2577/ 月曜休館)まで直接お申し込み下さい。





電車ご利用の場合

名城線「市役所駅」5番出口より徒歩7~8分程度

桜通線「丸の内駅」4番出口より徒歩15分程度 鶴舞線「丸の内駅」1番出口より徒歩10分程度

※駐車場は数台分のみです。ご来館は、公共交通機関をご利用ください。

◎お問合わせ



交通情報

TEL.03-3222-2577[月曜休館]



しょうけい館-戦傷病者史料館- 名古屋展

(会期) 平成28年10月26日(水)~30日(日)

〈会場〉名古屋市博物館(名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1)3階ギャラリー5・6

しょうけい館 (厚生労働省委託) 〈主催〉

戦傷病者とその妻やご家族等が戦中・戦後に体験した さまざまな労苦に係わる実物資料などを展示します。

平和祈念展 in名古屋

(会期) 平成28年10月26日(水)~11日6日(日)

〈会場〉名古屋市博物館(名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1) 3階ギャラリー7

平和祈念展示資料館 〈主催〉 (総務省委託)

平和祈念展示資料館が所蔵する、さきの大戦における、兵士、戦後強制 抑留者、海外からの引揚者の労苦に係わる実物資料などを展示します。